



## 北九州市立高等学校父母教師会

〒 804-0062 北九州市戸畠区浅生一丁目10番1号  
TEL (093) 881-5440

### 1 会員数及び会費(平成22年度)

区分	P会員	T会員	その他の会員	計
会員数	711人	60人	0人	771人
一人あたりの会費(年間)	9600円	9600円	0円	

### 2 収支決算(平成21年度)

収入の部	費目	収入額	摘要(主な使途)  <会務費> 備品購入費・通信連絡費・雇用事務職員費・マイクロバス諸経費・安全振興会加入費
	会費収入	6,995,200円	
	繰越金	1,945,329円	
	空調費	6,835,032円	
	その他の収入	10,013円	
	計	15,785,574円	
支出の部	費目	支出額	<会議費> 総会費・運営活動費
	会務費	3,761,794円	
	会議費	122,197円	
	事業費	1,229,051円	
	積立金	2,230,000円	<事業費> 大会参加費・交流経費・学校行事協力費
	空調費	5,798,103円	
	繰越金	2,644,429円	
	計	15,785,574円	

### 3 設けられている会則・運営細則・会議規則・会計規則等

会則等の名称	制定年月日	要旨
北九州市立高等学校父母教師会規約	昭和38年4月10日	施行
父母教師会表彰及び慶弔規程	昭和57年8月1日	施行

### 4 発足から今日までの歩み

年月日	PTAの改革(活動のトピックのみ記載)
昭和38年4月1日	北九州市立戸畠商業高等学校開校
平成4年11月7日	創立30周年記念式典開催
平成19年4月1日	普通科設立「北九州市立高等学校」に校名変更
平成21年8月20日	日本PTA全国協議会優良PTA文部科学大臣表彰受賞

## 5 地域の概要

本校は、北九州市戸畠区のほぼ中央に位置し、昭和38年北九州市立戸畠商業高等学校として開校。「自主・信義・調和」を校訓に掲げ、常に時代のニーズに適した特色ある教育活動を推進している。昭和44年貿易科、同48年情報処理科を新設。平成元年貿易科を国際経済科に改称。平成8年進学コースを導入。同19年学科改編により普通科を設置し校名を「北九州市立高等学校」に改めた。北九州市が設置する唯一の高等学校であり、地域とともに発展を遂げてきた。北九州市全体を校区とし、普通科商業科併設校として市民の期待を担っている。地域では極めて高い就職率を誇り、保護者からの信頼も厚い。また部活動が盛んであり、運動部、文化部問わず、多くの部が好成績を収めている。PTA活動も盛んであり、保護者のPTA活動に対する興味関心も高い。

## 6 組織運営の状況

本PTAは、「子どもたちのためのPTA活動」のスローガンのもと、保護者が気軽に気持ちよく参加できる活動を行っている。

その活動の中心となる組織が役員会である。会長1名、副会長3名、書記1名、会計1名、会計監査2名で構成される。会長の強いリーダーシップのもとチームワークのよい組織となっている。

委員会活動は、総務委員会・健全育成委員会・研修委員会・調査広報委員会の4つがあり、役員会と連携を図りながら活動を行っている。定例の理事会はふた月に一回しか行っていないが、臨時理事会を行って調整を行うこともある。また部活動の全国大会出場時には応援団を組織し、生徒の応援に力を注いでいる。

総 会

役 員 会

会長・副会長・書記・会計・監査

理 事 会

総務委員会・健全育成委員会・研修委員会・調査広報委員会

## 7 広報活動の状況

調査広報委員会により、学校新聞「ヨイトサ新聞」を年2回発行している。内容は学校行事等における子どもたちの様子やPTA活動の様子を、写真をたくさん使用し紹介したもので、たいへん好評である。この「ヨイトサ新聞」は関係機関や、地域の中学校にも配布し学校教育に対する理解を深めてもらうのに一役買っている。

また今年度より学校ホームページを新しくし、より多くの方々に新しい情報を提供できるようにしている。さらに、吹奏楽部による外部での演奏活動やダンス部による公演活動を通して、地域とのつながりをより深くしていこうという取り組みも行っている。

## **8 学校教育の理解及び家庭教育に関する学習活動の状況**

学校教育に対する理解は、父母教師会総会や学期ごとに行われる保護者会等を中心に進められている。普段から地域との関わりを大切にした学校教育を行っており、学校に対する信頼は厚く、地域や家庭との良い関係が築かれている。

また家庭教育に関しては、学校行事の際、父母教師会長や役員らが、家庭でのしつけの大切さや家庭教育力の向上に向けた取り組み方などの呼びかけを行っている。家庭生活に関するアンケートを実施し、子どもたちをしっかり観察し支えることの重要性を再認識させるような取り組みも行っている。本校は普通科と情報ビジネス科を併設しているため、進学・就職両方に関する情報の提供も学校新聞等を通して行っている。

## **9 生徒の学校外生活の指導に関する活動状況**

本校は、生徒が学校外で活躍する場面が非常に多く、地域の人々とのつながりは強固なものとなっている。そのため、生活面での指導は徹底されており、高校生らしいきちんとした生活が行える状態にある。それでも健全育成委員会を中心に、街頭補導を行ったり、関係機関との定期的な連絡を取り合ったりして、生徒の学校外生活における風紀が乱れないように見守りを続けている。また部活動において、生徒が他の教育施設を利用したり、地域をランニングしたりといった場面もあり、更なる取り組みも必要になってくると考える。

## **10 地域の教育環境の整備に関する活動**

毎年、部活動の生徒を中心に学校近辺の清掃活動を行っている。朝、ほうきとちり取りを持って町の美化に貢献しており、教育的効果も絶大である。また例年夏休みに地域の「ヨイトサ祭り」に参加しており、その際商店街のごみ拾いや危険箇所の除去等を行っている。高校生が活動することで地域力向上にもつながっている。

## **11 今後の課題**

本校 P T A は、学校・家庭・地域の関係を確立し、学校教育の充実及び健全な生徒の育成を目的として活動を行っている。役員や教職員を中心に積極的な活動が推進され、その成果がはっきりと表れている。

しかし、まだまだ課題はたくさんある。まず第一に、P T A活動への参加率をさらに上げていくことである。役員が中心で運営を行っているが、もう少し一般会員の参加が増えてくるとさらに活気のある活動が行えるだろう。平日の参加が難しい状況にある家庭が多いので、できるだけ学校行事を休日に行えるように日程調整することも大切になってくる。そして第二に、学校教育活動とP T A活動のさらなる連携強化があげられる。学校教育の多くの場面で、効果的なP T A活動を行うことが可能であると考える。活動が多忙化しては困るが、学校環境整備であったり、登下校の安全指導であったり、活動の場を広げることで、生徒の健全育成の一端を担うことができるのではないかと考える。

これからも良い活動は推進し、課題を克服しながらよりよいP T A活動をおこなっていきたいものである。